都 市 交 通 委 員 会 記 録

1. 会議の日時	令和7年3月21日（金）午前10時0分～午前10時36分
2. 会議の場所	第1委員会室
3. 会議の議事	下記のとおり
4. 出席委員の氏名	下記のとおり

協議事項

（建築住宅局）

〔令和6年度〕

1. 第119号議案 公共施設等の買入れの変更の件（市営桜の宮住宅）
（都市局）

〔令和6年度〕

1. 予算第45号議案 令和6年度神戸市一般会計補正予算（関係分）
2. 予算第46号議案 令和6年度神戸市新都市整備事業会計補正予算
3. 陳情第125号 神鉄シーパスワンに関する陳情

出席委員（欠は欠席委員）

委員長 大野 陽 平

副委員長 赤田 かつのり

委員 村上 立 真

山下 てんせい

黒田 武 志

徳山 敏 子

かじ 幸 夫

大井 としひろ

細谷 典 功

坊 やすなが

議 事

（午前10時0分開会）

○委員長（大野陽平） おはようございます。ただいまから都市交通委員会を開会いたします。

本日は3月19日の本会議で、本委員会に付託をされました議案及び陳情の審査のため、お集まりいただいた次第であります。

最初に本日の協議事項については、追加協議事項を委員の皆様にお配りいたしておりますので、念のため申し上げます。

次に、写真撮影についてお諮りをいたします。

自由民主党さん、日本維新の会さん、公明党さん、日本共産党さんから本委員会の模様を写真撮影したい旨の申出がありますので許可いたしたいと存じますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（大野陽平） 御異議がありませんので、許可することに決定いたしました。

次に、陳情者から口頭陳述の申出がありましたので、陳情第125号について、都市局審査の冒頭に口頭陳述を聴取したいと存じますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（大野陽平） それではさよう決定をいたしました。

また、本日は交通局の審査の予定はありませんので、所管事項に関して質疑がなければ待機を解除したいと存じますが、いかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（大野陽平） 特にないようですので、交通局の待機を解除いたしますから御了承願います。

（建築住宅局）

○委員長（大野陽平） これより、建築住宅局関係の審査を行います。

それでは議案1件について当局の説明を求めます。

局長、着席のままをお願いいたします。

○根岸建築住宅局長 建築住宅局でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。着席させていただきます。

それでは、議案1件につきまして御説明申し上げます。

お手元の資料1ページを御覧ください。

1. 第119号議案公共施設等の買入れの変更の件（市営桜の宮住宅）でございます。

なお、金額は1,000円以下を切り捨て、万円単位で御説明いたします。

（1）概要は、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第2条第1項に規定する公共施設等の買入れを資料記載のとおり変更するものでございます。

（2）買入れ価格は、187億4,630万円。

（3）売渡人は、株式会社長谷工コーポレーションほか6社でございます。

2ページに事業範囲図、3ページに議案をそれぞれ掲載しておりますので御参照ください。

以上、議案1件につきまして御説明申し上げます。

何とぞよろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（大野陽平） 当局の説明は終わりました。

これより質疑を行います。

初めに、第119号議案公共施設等の買入れの変更の件（市営桜の宮住宅）について御質疑はございませんか。

（なし）

○委員長（大野陽平） 次に、この際、建築住宅局の所管事項について御質疑はございませんか。

（なし）

○委員長（大野陽平） 他に御質疑がなければ建築住宅局関係の審査はこの程度にとどめたいと存じます。

当局、どうもお疲れさまでした。

委員の皆様申し上げます。

それではここで次の都市局が入室するまでの間、休憩といたしたいと存じます。

なお、当局が入室後、委員の皆様がそろい次第、再開いたしたいと存じますので御了承願います。

（午前10時4分休憩）

（午前10時6分再開）

（都市局）

○委員長（大野陽平） ただいまから都市交通委員会を再開いたします。

これより都市局関係の審査を行います。

最初に、口頭陳述の聴取に入りますが、この際、陳述人に申し上げます。

陳述の際は、最初にお住まいの区と氏名をおっしゃっていただき、内容を御要約の上、5分以内に陳述を終えるよう、よろしくお願いいたします。

それでは、陳情第125号について、口頭陳述を聴取いたします。

陳述人の川口さん、発言席へどうぞ。

それでは、5分以内でお願いいたします。

○陳情者 北区から来ました川口福夫といたします。

既に陳情の中に、陳情事項として3点挙げております。それを一つ一つ補足説明したいと思います。

1番目は、令和7年度から、神鉄シーパスインの値上げをやめていただきたいということです。神鉄シーパスインの購入対象者は70歳以上の方で、多くは年金生活者と思います。物価高騰で大変苦勞しています。民間の調査会社帝国データバンクによると、2025年度の1月から4月までに、食品の値上げは4か月連続6,000項目で、4月に入ってから値上げは止まりそうにもないとのこと。

収入になる年金金額は、厚生労働省の発表によると、'25年度の年金改定はプラス1.9%となっていますが、実質上はマイナス0.8%であるということです。1.9%から物価上昇は2.7%になるということで、引きますと0.8%になるということです。

今年で年金額の実質の削減が3年連続で続き、高齢者の我慢も限界に来てるんじゃないかと思っています。

物価上昇を上回る年金増額こそ必要かもしれませんが、神鉄を利用している高齢者の足を守る

ために、神鉄シーパスワンの値上げは見送っていただけられないでしょうか、よろしく願いいたします。

2点目は、一日も早く神鉄シーパスワンを本格実施をお願いしたいということです。

神鉄シーパスワンの制度は大いに助かっております。2月、3月になると、神鉄シーパスワンは、本年度も続くのか心配になります。このよい制度を本格実施していただき、早く安心させていただきたいと思います。

3点目です。マイナンバーカードを持たない人への負担はやめてくださいということです。

マイナンバーカードを持ってない方は神鉄シーパスワンの購入の方法を知らない方が多いと思います。神鉄シーパスワン係にはがきで申し込むことすら知らない方が多いと思います。何人かの方に伝えましたが知っていませんでした。

ある私の知人は、以前、はがきが届いてたときには、神鉄シーパスワンを買っていたが、マイナンバーカードが必要になってから、湊川市場まで行くのにも鈴蘭台東町市営住宅へ歩いて、親和大学のバス停まで行き、降りるときは楠木町6丁目で降りて、歩いて湊川市場まで行くようになったと言っていました。

マイナンバーカードのない方は、別途500円が必要となり、市民の中で差ができてるんじゃないでしょうか。

また、神鉄シーパスワンの売上げにも影響するのではないかと心配しています。

また、手数料500円の内訳はどうなってるんでしょうか。内訳というのは、なぜ500円という金額が決まったのかということもよく分からないということです。

マイナンバーカードを持たない人への負担は止めてください。以上ですが、よろしく願いいたします。

○委員長（大野陽平） 口頭陳述は終わりました。

どうもお疲れさまでございました。

それでは、議案2件及び陳情1件について一括して当局の説明を求めます。

山本局長、着席のままです。

○山本都市局長 都市局でございます。よろしく願いいたします。

それでは、予算議案2件、陳情1件につきまして御説明申し上げます。

なお、金額は万円単位にて御説明いたします。

初めに、予算第45号議案令和6年度神戸市一般会計補正予算につきまして御説明いたします。

資料1の2ページを御覧ください。

2歳出予算の説明でございます。

第10款都市計画費につきまして、表の左から3列目、補正額の欄にございますように5,270万円の増額となっております。

内容といたしましては、交通政策費として、神戸空港への国際チャーター便就航に備え、ポートアイランド、神戸空港への交通アクセスの向上等を図るものでございます。

3ページを御覧ください。

3繰越明許費の説明でございます。

表の合計欄にございますように5,270万円を令和7年度に繰り越す予定でございます。

続きまして、予算第46号議案令和6年度神戸市新土地整備事業会計補正予算につきまして御説明申し上げます。

資料2の1ページを御覧ください。

当該補正予算につきましては、市が新たな産業団地の整備を進めるに当たりまして、事業区域内に含まれる財産区の土地を取得するため、第6条重要な資産の取得及び処分に記載のとおり、重要な資産の取得として、約1万8,000平方メートルの土地の取得について、予算に定めるものでございます。

続きまして、神鉄シーパスワンに関する陳情につきまして御説明申し上げます。

追加資料1の1ページを御覧ください。

陳情第125号は、令和7年度のシーパスワンの値上げをやめることのほか、シーパスワンの本格実施やマイナンバーカードを持たない人への手数料負担をやめることを求めるものでございます。

陳情に対する市の考え方を御説明いたします。

1. 神鉄シーパスワンの値上げにつきまして、シーパスワンは神戸電鉄の利用促進を目的に、シニア層を対象として販売する企画乗車券であり、利用者負担と市の運賃補填及び運行事業者の協力の下に成り立っております。

令和7年1月に神戸電鉄は、近年の物価高騰や人件費の上昇、自然災害への対策や老朽化した鉄道インフラの維持・更新等に対応する必要があることから、運賃値上げを実施いたしました。この値上げにより、令和7年度のシーパスワンの価格改定を行う予定でございます。

改定後の金額は、従前と同様の負担の考え方の下、普通運賃の値上げ額を基準として引き上げることとし、市の負担額も増額しながら実施してまいります。

令和7年度予算の成立後、丁寧に利用者へ周知してまいります。

2. 本格実施につきまして、本格実施への移行には費用面と運用面での課題を解決し、事業の持続性を確保することが必要と考えております。

費用面においては、対象者が毎年増加することにより、今後も市が負担する運賃補填額は増加していくことが見込まれることから、経費削減が課題となっております。

また、運用面においては、ICやQR化の可能性など、脱磁気化に対応していく必要がございます。

シーパスワンは今後も継続的に実施すべき事業と認識しており、鉄道事業者と課題解決に向け協議を進め、本格実施について引き続き検討してまいります。

3. 販売引換券につきまして、販売の際には、マイナンバーカードや販売引換券に記録された氏名・住所・年齢の情報を読み取り、本人確認と購入枚数の管理を行っておりますが、マイナンバーカード内のICチップには、病歴などの個人情報記録されておられません。令和4年度より販売引換券の郵送を廃止し、カードの掲示による販売を基本としており、マイナンバーカードでの購入率は、令和7年3月現在94%となっております。

販売引換券の発行には、申込みの受け付けや引換券の作成、郵送等に経費が必要となることから、各年度初回のみ500円を御負担いただくものです。事業継続のため、御理解いただきますようお願いいたします。

以上、予算議案2件、陳情1件につきまして御説明申し上げます。

何とぞよろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（大野陽平） 当局の説明は終わりました。

これより質疑を行います。

まず、予算第45号議案令和6年度神戸市一般会計補正予算のうち、都市局関係分について御質疑はございませんか。

○副委員長（赤田かつのり） 先ほど局長から、資料2ページのところの説明がございました。

国際チャーター便の就航に備えて徹底した広報強化を行うということなんですけど、もう少しこの5,270万円の内訳について教えてもらえますか。

○武田都市局部長 広報強化の内訳について御説明申し上げます。

1つには、マリンエアシャトル空港アクセスバスの案内誘導員を配置するというものです。

もう1つは、今ポートアイランド行きのバス——ポートライナーの混雑緩和のために出している社会実験バスですが、このバスの利用者に対してポートライナーの定期を持ってる方に共通乗車証というのを発行しているんですが、これが人気でございますので、さらなる追加発行しようというもの、それが2つ目。もう1つが、空港アクセスのバスの手段等につきましてポートライナーの車内を使って、あるいは駅の中で集中的な広報をしようというものが3つ目。最後に、外国人の方、インバウンドの方を主なターゲットとしてユーチューブでアクセスバスの利用の仕方等を案内するもの、これを作成する。この4つでございます。

○副委員長（赤田かつのり） 今、4つ大きな柱おっしゃいましたけど、それぞれ5,270万円の中でどれだけの金額なんかということも併せて教えていただけますでしょうか。

○武田都市局部長 先ほどの順番で申し上げます。

1つ、案内誘導員が1,500万、共通乗車証の追加募集が470万、それからポートライナーの車内とか駅での集中的な広報が3,100万です。それと外国人向けユーチューブが200万という内訳になってございます。

○委員長（大野陽平） 他にございませんか。

（なし）

○委員長（大野陽平） では次に、予算第46号議案令和6年度神戸市新都市整備事業会計補正予算について御質疑はございませんか。

○副委員長（赤田かつのり） ちょっと確認なんですけれども、この議案というのは、財産区の土地を買い入れて、産業団地を造成することを目的としているという、そういう議案だと思っんですけど、ちょっと確認です。

○諏訪都市局副局長 副委員長、御指摘のとおりでございます。

○副委員長（赤田かつのり） 私は、これは反対します。

以上です。

○委員長（大野陽平） では次に、陳情第125号、神鉄シーパスワンに関する陳情について、御質疑はございませんか。

○副委員長（赤田かつのり） 3つ陳情の事項が出ていますけれども、まずこの対象者が先ほど答弁の中で毎年増加傾向というようなことをおっしゃったと思うんですけれども、現に利用されているシーパスワン利用者の中でも高齢化というのが進むのかなというふうに思うんですが、どんな傾向なんですかね。

○久保都市局部長 シーパスワンの対象者が年々増えていることにつきましては、令和3年度で1万889名の方に御購入いただいています。令和5年度においては1万749人ということになっていきますが、枚数につきましては、令和3年が2万9,971枚に対しまして、令和5年が3万1,934枚というふうに増加している状況でございます。

対象者につきましても70歳以上がこのシーパスワンの対象になってございまして、平成28年度は30万8,000人が対象になっていましたが、令和6年現在で36万5,000人が対象になってございませぬ。

以上です。

○副委員長（赤田かつのり） つまり、一度購入された方はこれからも引き続き活用したいという思いがあると思うんですね。発行枚数も当然増えるわけであって、やっぱりそれだけ利用されている方全体も単純に平均年齢を計算すると上がっているんだなという感じがするんですよ。

その中でもやっぱりその分だけ自ら移動するのが加齢に伴って難しくなるというものもあるんじゃないかというふうに想像いたしますけれども、同時に陳情者言われるように、この物価高騰の折、1円でも生活費を切り詰めたいというところと、だけど、できるだけやっぱり社会参加したいという要求があると思うんですよ。

この値上げによって、これは交通政策ですから、全体として値上げの影響——どの鉄道、交通機関でも値上げがありますけれども、このことが外出する人を減らしてしまわないか、社会実験の目的として、この神鉄シーパスワンやシーパスワン plus、それから北神を販売するというところで、このことでシニア層を対象にして利用促進を目的にしているわけですから、そこの関係で言うと、どのような御見解でしょうか。

○久保都市局部長 シーパスワンの社会実験につきましても、神戸電鉄の利用促進を図るといふことと、シニア層の外出機会を創出するといふことを目的に実施してございまして、先ほども申し上げましたように販売枚数が令和3年が2万9,971枚に対しまして令和5年が3万1,934枚と、さらに今現在、令和6年の販売につきましても昨年を上回る枚数で販売が進んでいるところでございませぬ。

この値上げによって買い控えとか、そういったことによる外出機会が失われるといふことはいかなる状況といふふうに判断してございませぬ。

以上です。

○副委員長（赤田かつのり） ただ、生活費を切り詰めながらのことになってくると思うので、そうそう安易に言えないんじゃないかなといふふうに思うんですね。

マイナンバーカードを持っていようが持っていないだろうが、この神戸電鉄の利用促進に貢献してると思うんですよ。

それで持っていない人に、先ほど陳情された方からも言われたと思うんですけども、別途500円の事務手数料といふのは、明らかにこれはもう差をつけているといふふうに私も思うんですけど、その辺、見解をお願いします。

○久保都市局部長 マイナンバーカードによる購入以外で販売引換券の購入をお願いしている方につきましても、その販売引換券を作成するためにかかる経費、QRコードを印刷したりする経費なんですか、それと御本人に郵送するための経費、こういったものは実費になるんですけど、それ以外にそういった事務を処理する人件費等々がかかってございまして、こういったところの経費の一部を御利用者様に負担していただいているところでございませぬ。

以上です。

○副委員長（赤田かつのり） 経費の一部が500円だといふことだと思っておりますが、残りの部分といふのは、幾らなのかといふことを教えてください。

○久保都市局部長 おおむね1人当たり1,200円程度の経費を見積もってございませぬ。

○副委員長（赤田かつのり）　ということは、1,200円の中の700円ぐらいが市の負担ということかという理解なんですけれども、ただ、今約94%の利用者がマイナンバーカードを使っていると、残りは6%と言われたんですけれども、たしか令和4年度からこのマイナンバーカード導入されたと思うんですが、その当時はもうちょっと多かったと思うんですね、たしか1割ぐらいだったと思うんですけど、だんだんと減ってるわけですね。

となると、1人当たり事務経費が1,200円としても、そんなに市の負担というのは一定あってそんなに大きな金額じゃないというふうに思えて仕方ないんですよ、それが1つ。

それからもう1つは、マイナンバーカードを取得した場合でも、これもなかなか手続が厄介かなというふうにお感じの方多いと思うんですけれども、利用者証明電子証明書というのがありますが、それが利用ができない場合がある、設定が難しいということなんですね。そのときには案内では、自宅から役所まで行かなあかんと、住民票がある市区町村窓口へ行かなあかんと。住まれているところによってはそこまで行くのもなかなか大変と負担を感じる人も多いんじゃないでしょうか。

やっぱり高齢の方にとって大きな負担となると思うんですけど、その辺については、何も考慮されてない感じするんですけれども。

○久保都市局部長　販売引換券に対する市の負担が年々少なくなっているのではないかという御指摘なんですけど、実際、令和4年度本格的にマイナンバーカードを実施させていただいたときは8割程度の方がマイナンバーカード利用されていまして、令和6年度においては94%まで増加しているということですので、やはり皆さんマイナンバーカードによる手続の簡素化、そういう手続の利便性があるということと、シーパスワン自体に非常に利用のメリットがあるということで利用が進んでいるというふうに考えてございます。

残り6%の方は販売引換券なんですけれども、こういった方に対しても販売の機会において、マイナンバーカードを利用することのメリットを丁寧に説明して、これから取得していただくように努めてまいりたいと考えてございます。

以上です。

○副委員長（赤田かつのり）　2つありまして、現在、直近の数字でいいんですけれども、1人当たり1,200円なんだけど、市の負担部分はトータルすると事務費、どのぐらいの負担になっているのかということが1つと、それからもう1つは、先ほどマイナンバーカードでもかなり丁寧に説明するとあるんですけど、それでもなかなか利用者証明電子証明書の設定なんかでも必要なときに戸惑うということもあると思うんですが、そういう戸惑いがある方にとっては、敷居が高いと思うんですけど、そう思いませんか。

○久保都市局部長　手数料1,200円を頂戴してまして、実際全体的には5年度ベースで言いますと200万円程度が経費としてかかっております。

丁寧にマイナンバーカードを取得するように説明するということがお年寄りの皆さんにとっては難しいという御指摘でございますけれども、国においてもマイナンバーの取得方法がパソコンとかスマホ以外にも証明写真機で取れるようにしてみたり、郵送でアナログで取得できるようなこと、いろんな手法も増えてきてますので、そのあたりを丁寧に説明してまいろうかなというふうに考えてございます。

以上です。

○副委員長（赤田かつのり）　もうまとめますけど、200万円ってしれていると思うんですよ。

そのぐらいの負担は必要だと思います。

いずれにせよ、やっぱりこの社会実験にマイナンバー持っている方であろうが、持ってない方であろうが貢献されてるといふふうに思うんで、やっぱりそこはもうちょっとマイナンバーの利用促進と一体にするんじゃないじゃなくて利用できない方でも安心して利用できるように頑張ることが筋だと私は思います。

以上です。

○委員長（大野陽平） 次に、この際、都市局の所管事項について御質疑はございませんか。

（なし）

○委員長（大野陽平） 他に御質疑がなければ都市局関係の審査はこの程度にとどめたいと存じます。

当局どうもお疲れさまでした。

なお、委員の皆様におかれましては都市局が退出するまでしばらくお待ち願います。

（午前10時28分休憩）

（午前10時30分再開）

○委員長（大野陽平） それではこれより意見決定を行います。

まず、予算第45号議案令和6年度神戸市一般会計補正予算のうち、本委員会所管分についていかがでしょうか。

（「異議なし」「異議あり」の声あり）

○委員長（大野陽平） 原案を承認するという意見と、原案を承認しないという意見がありますので、これよりお諮りいたします。

原案を承認することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○委員長（大野陽平） 挙手多数であります。

よって、本件は原案を承認することに決定いたしました。

次に、予算第46号議案令和6年度神戸市新都市整備事業会計補正予算についていかがでしょうか。

（「異議なし」「異議あり」の声あり）

○委員長（大野陽平） 原案を承認するという意見と、原案を承認しないという意見がありますので、これよりお諮りいたします。

原案を承認することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○委員長（大野陽平） 挙手多数であります。

よって、本件は原案を承認することに決定いたしました。

次に、第119号議案公共施設等の買入れの変更の件（市営桜の宮住宅）についていかがでしょうか。

（「異議なし」）

○委員長（大野陽平） それでは、本件は原案を承認することに決定いたしました。

次に、陳情第125号、神鉄シーパスワンに関する陳情について、各会派の御意見をお聞かせ願います。

まず、自由民主党さん。

○委員（山下てんせい） 自由民主党でございます。

陳情第125号、神鉄シーパスワンに関する陳情は打切といたします。

受益者負担及び手数料の経費という観点から、当局の説明を了としたいと思います。

ただし、当制度の本格実施については同様の意見をいただいております、一定理解できる部分もあるため、打切といたします。

○委員長（大野陽平） では、日本維新の会さん。

○委員（大井としひろ） 陳情第125号について、日本維新の会神戸市会議員団は審査打切とします。

理由として、神鉄シーパスワンの値上げは、神戸電鉄が物価高騰や人件費上昇、鉄道インフラ維持のために実施した運賃改定に基づくものであり、本市の負担額も増額しながら実施されます。

また、本格実施に向けては、費用・運用面の課題を克服しつつ進める方針です。

また、販売引換券については、郵送を廃止することにより経費削減を目的として、マイナンバーカードの提示による販売へ移行し、現在、購入率は全対象者の94%に達しています。引換券の発行には郵送費等の経費を要するため、事業継続性の観点から初年度初回のみ500円を御負担いただくことはやむを得ないと判断し審査打切といたします。

○委員長（大野陽平） では、公明党さん、お願いいたします。

○委員（細谷典功） 陳情第125号に関しまして、我が会派は審査打切といたします。

理由としましては、令和7年1月の神戸電鉄の普通運賃値上げに応じてシーパスワンの価格を引き上げることは、利用者負担及び市、それと神戸電鉄の協力の下に成り立っている制度であるゆえ、制度維持のため一定の利用者負担の増はやむを得ないと考えます。

また、本格実施に向けては利用者増加による費用の負担増の課題や脱磁気カード化への対応の課題が残っており、引き続き当局と鉄道事業者で、より便利で使いやすいものになるように検討しているところです。

さらに、マイナンバーカードを使わずに購入する場合の手数料につきましては、販売引換券の発行や郵送などの事務経費が発生しておりますので、事業継続のため、御負担は御理解いただきたいと考えます。

これらの理由から陳情125号は審査打切といたしますけれども、市には利用者への丁寧な説明をお願いしたいと思います。

以上です。

○委員長（大野陽平） 日本共産党さん。

○副委員長（赤田かつのり） 先ほど陳情されている方から、利用者の生の声をいただきました。貴重な御意見だと受け止めてます。

私たちは、神鉄シーパスワンは住民支援の恒久的制度として援助を続けていくべきとの立場から、本陳情は、この3つの項目ともこれは同意できますので、採択を主張します。

○委員長（大野陽平） こうべ未来さん。

○委員（かじ幸夫） こうべ未来です。

我が会派は審査打切を主張いたします。

陳情項目の2に関しては、陳情者の思い、これは理解をできて、これまで西区北部、もしくは北区における交通政策の一環として取り組まれてきたことは、これは市民にとって評価が高いと

いうふうに感じております。

当局には本格実施を求める強いこの思いを受け止めて、将来にわたって持続可能な制度とすべく真摯にこれは検討いただきたいと思っております。

一方、陳情項目の1並びに3に関しては、当局の説明を了とする立場です。

よって陳情に関して審査打切を主張いたします。

以上です。

○委員長（大野陽平） 村上委員。

○委員（村上立真） 他会派とおおむね同様の理由ですが、打切をお願いします。

○委員長（大野陽平） 以上のように各会派の御意見は採択、審査打切の2つに分かれておりますが、本日結論を出すことについては意見が一致しておりますのでこれよりお諮りをいたします。

まず、本陳情について、採否を決するかどうかについてお諮りをいたします。

本陳情の採否を決することに賛成の方、念のために申し上げますと、採択、または不採択を主張される方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○委員長（大野陽平） 挙手少数であります。

よって本陳情は採否を決しないことに決定いたしました。

したがって審査打切となりました。

以上で、意見決定は終了しました。

○委員長（大野陽平） 本日御協議いただく事項は以上であります。

本日の委員会はこれをもって閉会いたします。

（午前10時36分閉会）